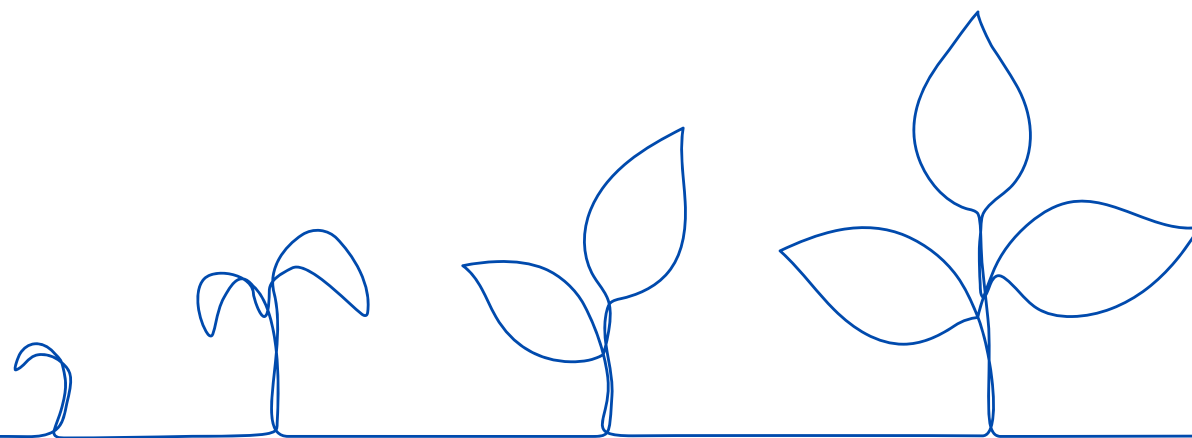




デイトレード

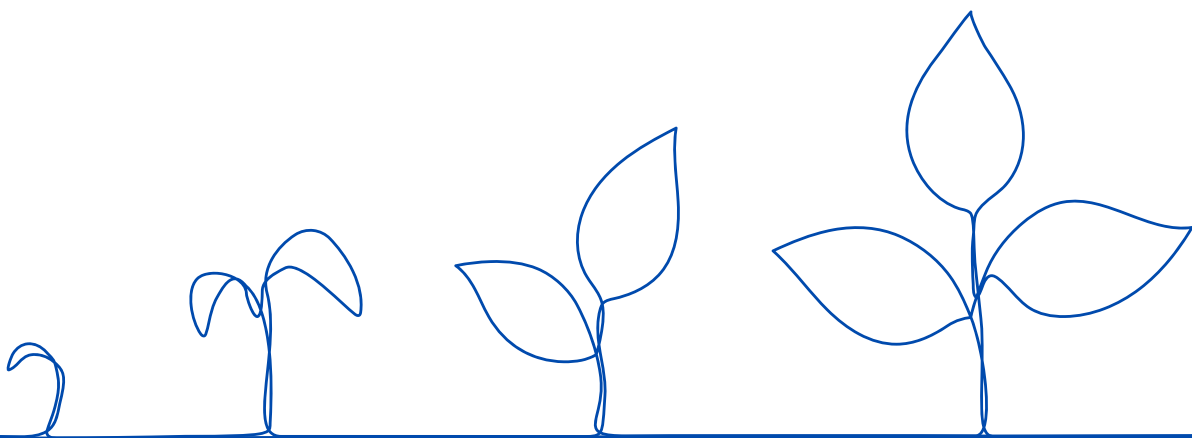
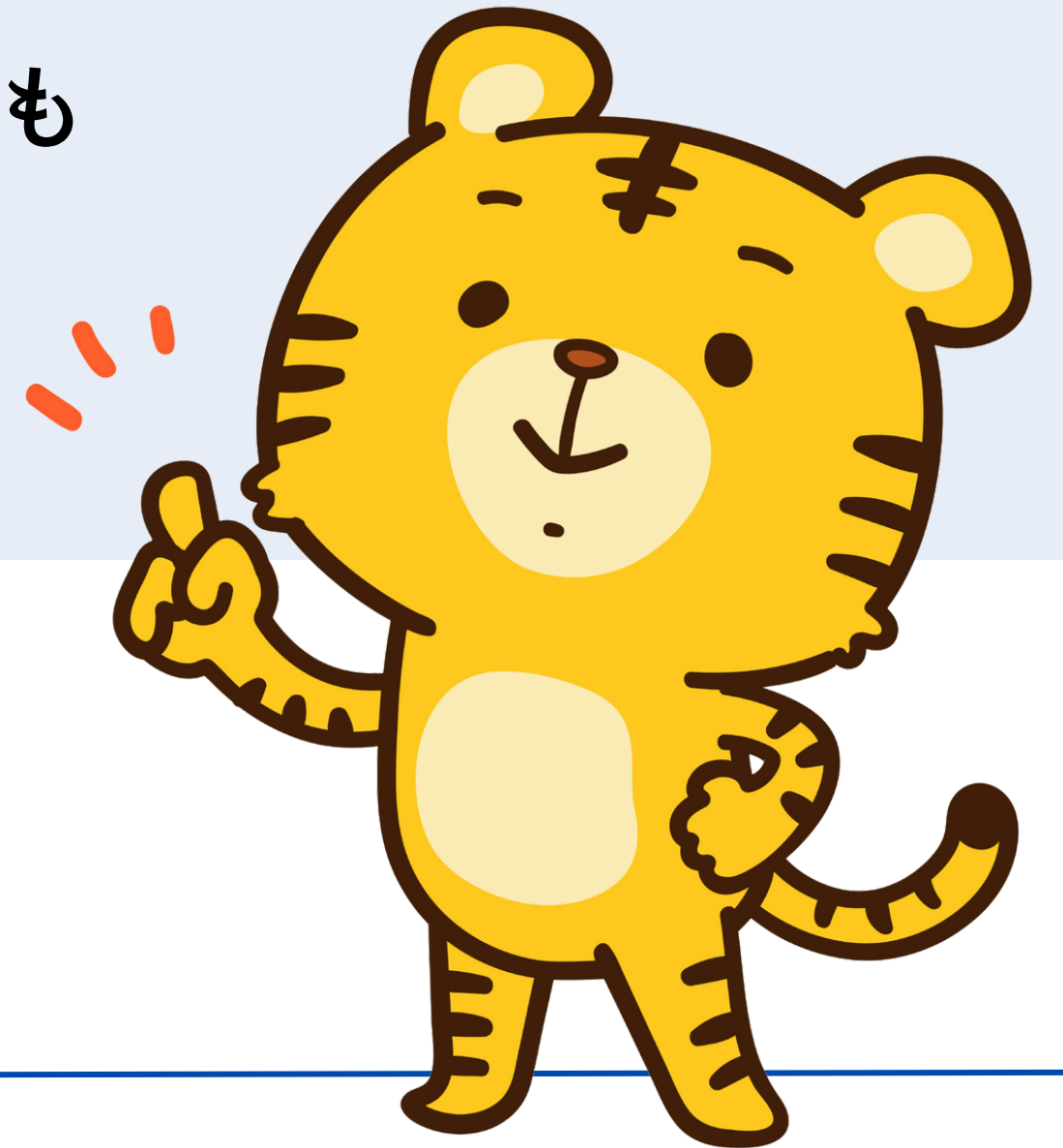
基礎学習講座





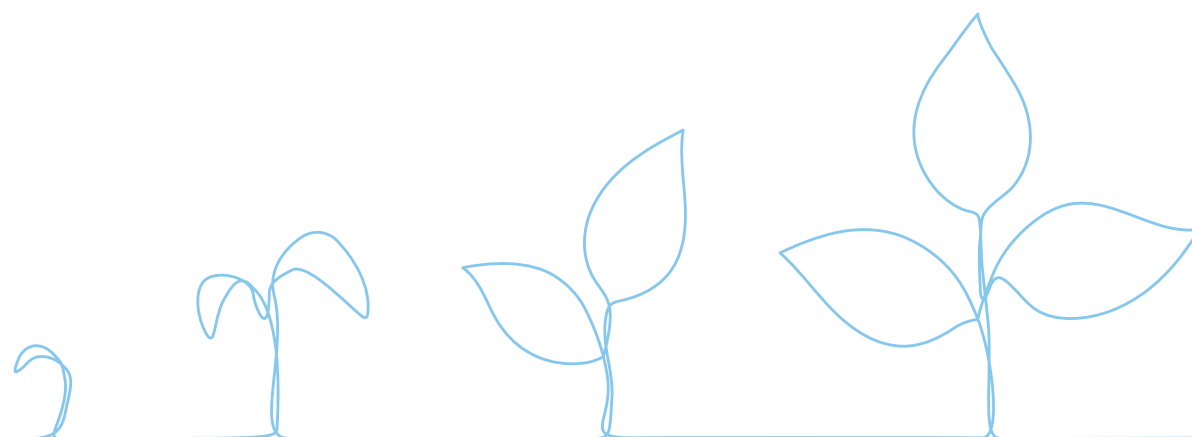
デイトレードとは

1日のうちにポジションを建てて、同じ日のうちに決済を完了させる短期トレード手法です。ポジションの保有時間は数十分～数時間程度が一般的で、「翌日にポジションを持ち越さない」のが最大の特徴です。スカルピングよりもやや長めの時間軸でチャートを見て、数十pipsの値幅を狙っていくのが基本戦略となります。





メリット





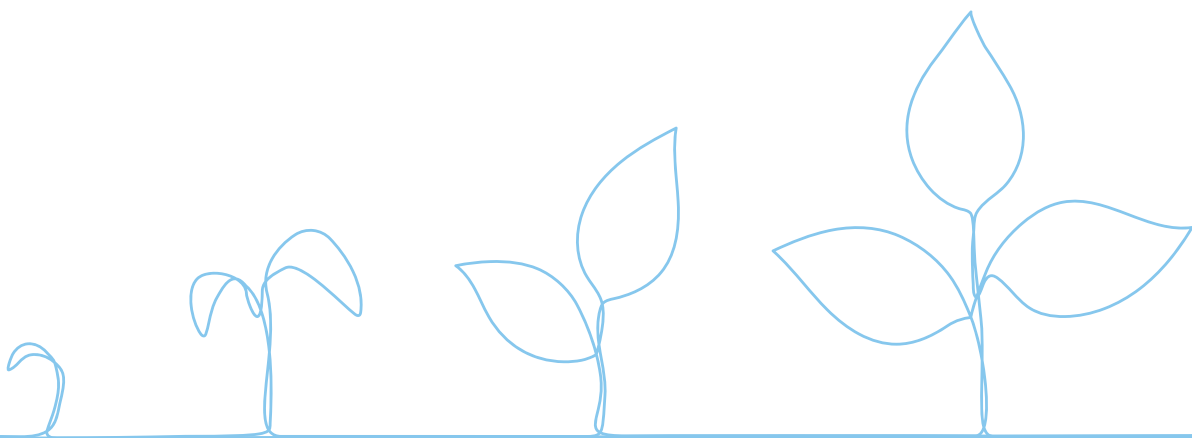
デイトレードのメリット

持ち越しリスクがない

すべてその日のうちに完結するため、夜間の急変動などを回避できる

短期的なテクニカル分析が効きやすい

数時間の値動きに注目するため、テクニカル分析を活用しやすい





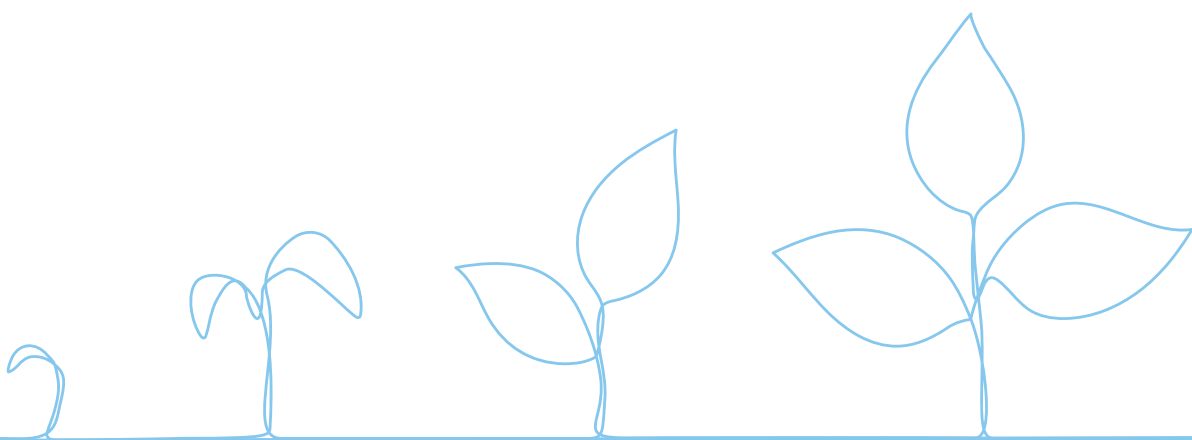
デイトレードのメリット

日中の空いた時間で取り組める

朝や夜だけトレードすることも可能で、ライフスタイルに合わせやすい

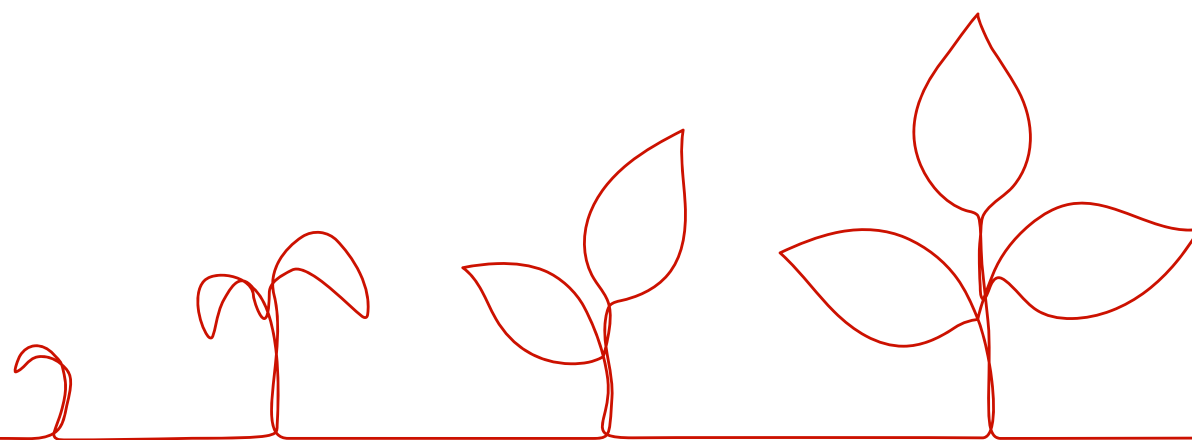
学習サイクルが回しやすい

日単位で反省・改善を繰り返せるので、検証・成長スピードが早い





デメリット





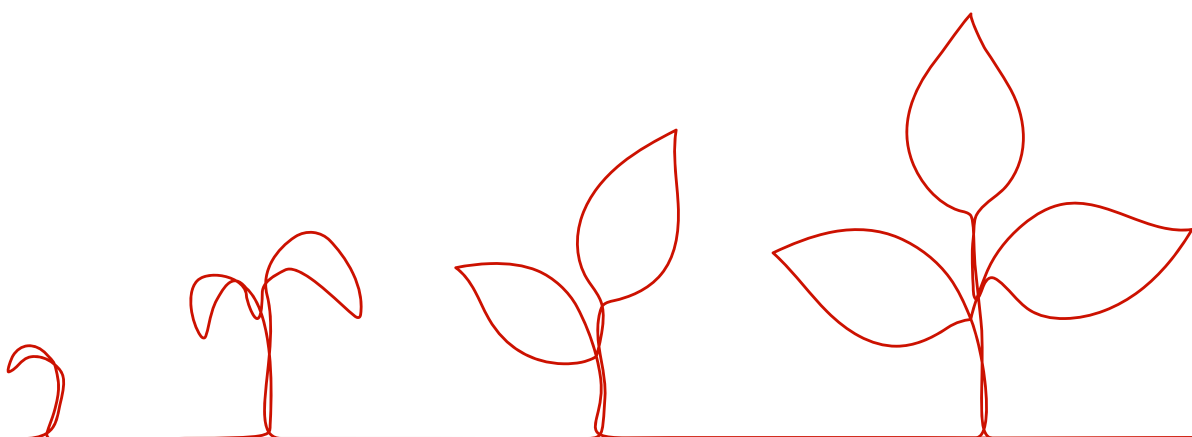
デイトレードのデメリット

短期トレード特有の負荷

一瞬の判断やミスで損失が出やすく、集中力や緊張感が求められる

時間に縛られる場合がある

チャンスが来るまでチャートを見て待つ必要がある場合もある





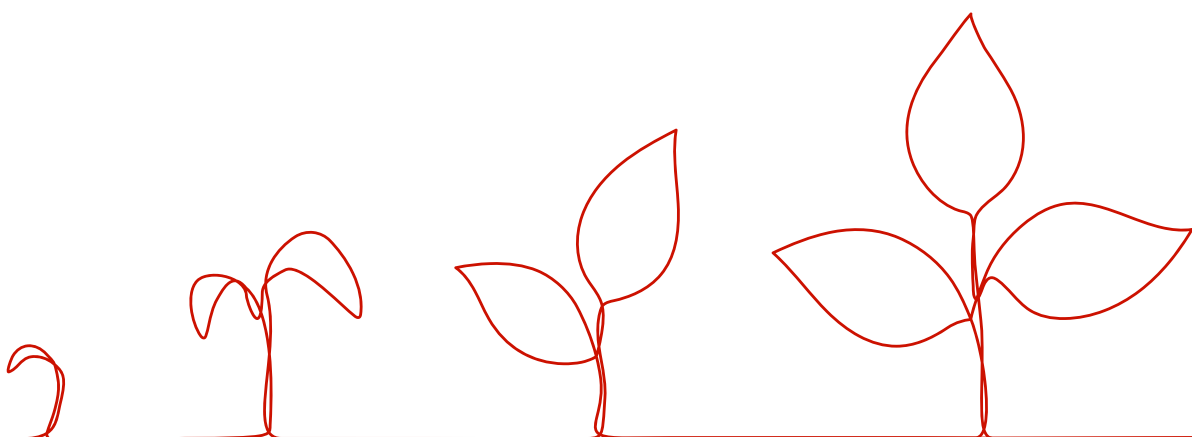
デイトレードのデメリット

スプレッド・スリッページの影響

スキャルほどではないが、取引コストを意識する必要がある

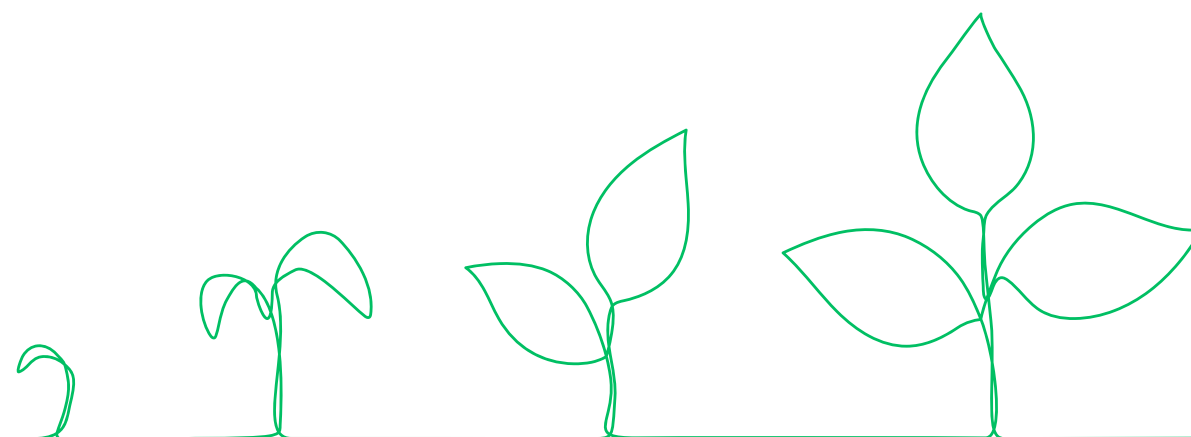
トレード依存になりやすい

毎日トレードできる反面、「やらなければ」と焦ってエントリーしやすい





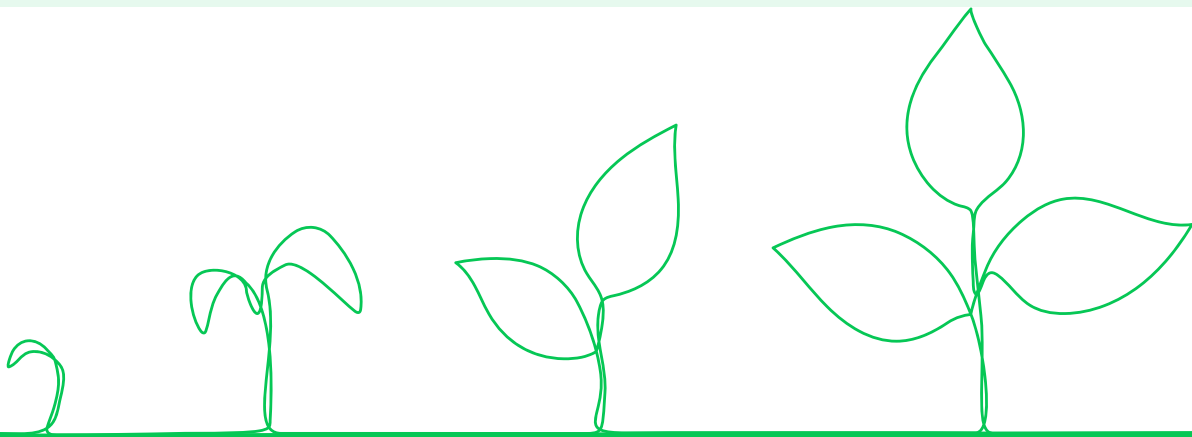
向いている人





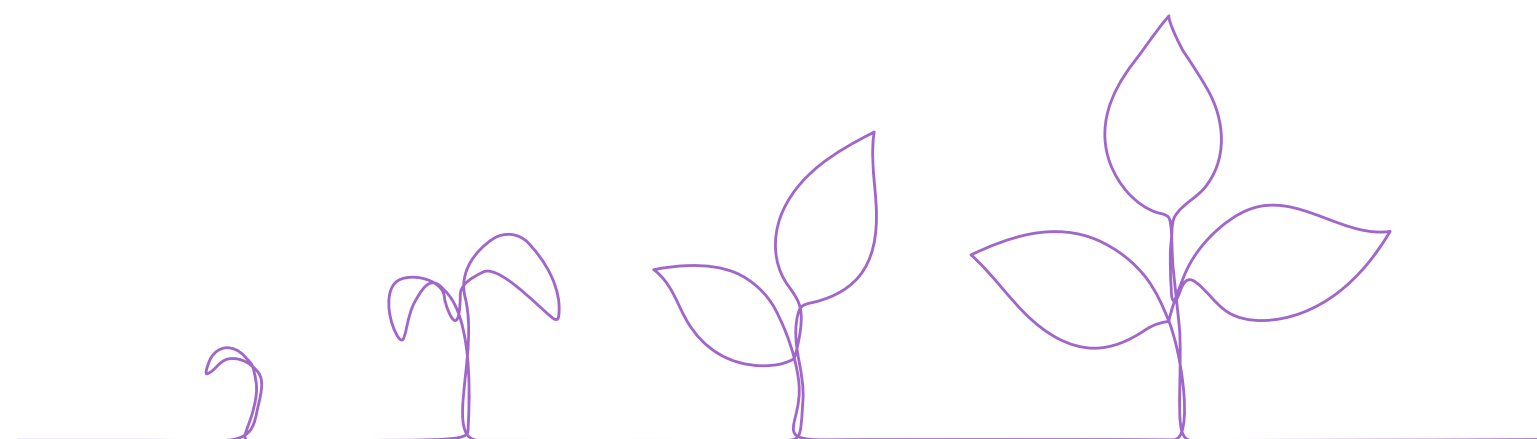
向いている人

- 短期～中期のトレードスタイルに興味がある人
- ある程度の時間を毎日チャート観察に使える人
- テクニカル分析を学び、チャートで優位性を探したい人
- 感情をコントロールしやすく、冷静に損切りできる人
- 翌日の持ち越しに不安やストレスを感じるタイプの人





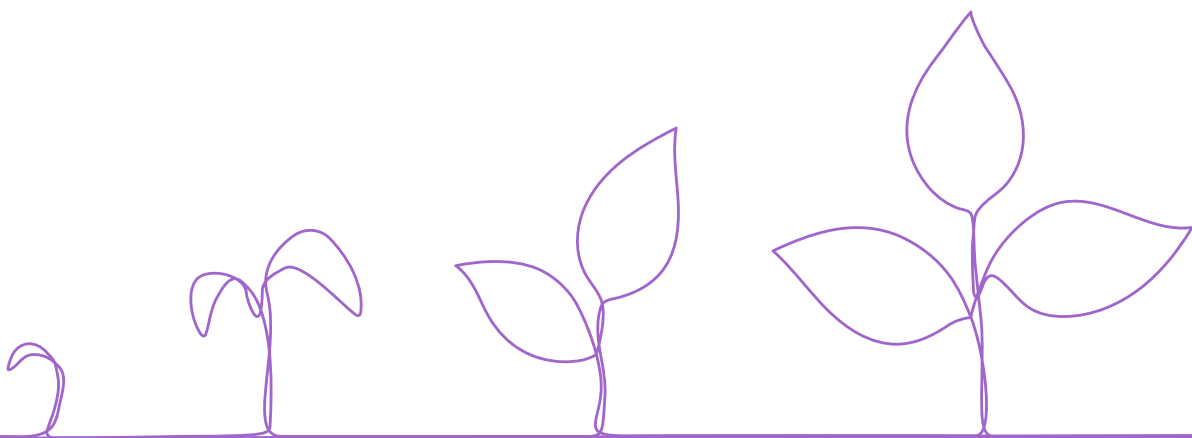
向いていない人





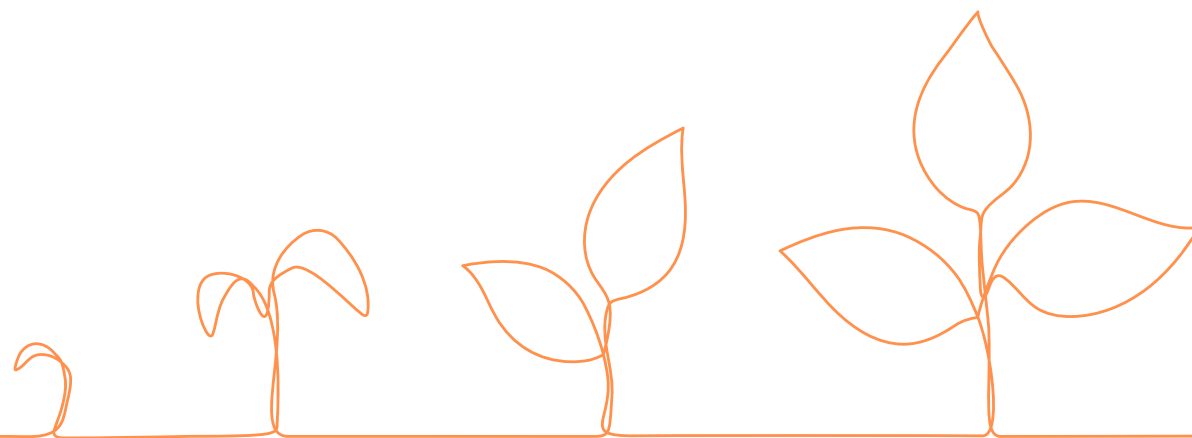
向いていない人

- 日中にチャートを見る時間がまったく取れない人
- 判断力よりも長期的な分析に軸を置きたい人
- 1日に何度もポジションを持つことにストレスを感じる人
- 短期の値動きで冷静さを欠きやすい人





成功するために必要なこと





成功するために必要なこと

明確な時間軸と戦略の選定

- どの時間足(例:15分足／1時間足)を基軸にエントリーするかを明確にする
- 例えば、4時間足で環境認識 → 1時間足でタイミング判断 → 15分足でエントリー、などの多時間軸分析が有効

日足レベルの環境認識

- 短期で動くとはいえ、大きな流れ(日足など)を無視しないこと
- 大きな流れに逆らうエントリーは、勝率が落ちやすい





成功するために必要なこと

トレードの時間帯を絞る

- ロンドン市場(日本時間16時～)や、ニューヨーク市場(21時～)など、ボラティリティの高い時間に集中するのが理想
- ダラダラとチャートを見続けるより、時間を決めてトレードする習慣が大切

エントリーの根拠を「複数持つ」

- 単一の根拠(例:移動平均線のクロス)だけでなく、複数の条件(ライン・形状・時間帯など)を組み合わせることで再現性が高まる

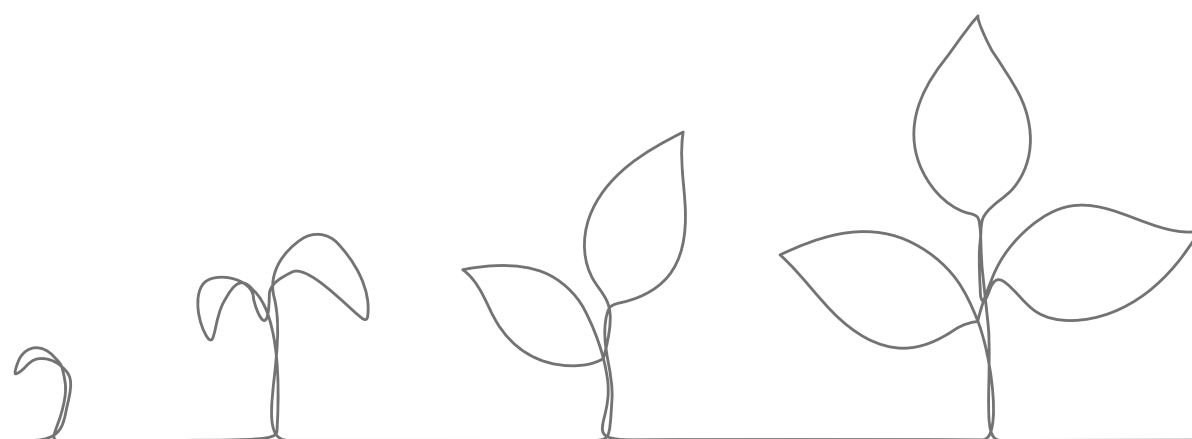
検証と記録による改善

- 1日1トレードでも良いので、毎日のトレード結果を必ず振り返ること
- TradeTrainerなどのツールを活用して、手法のクセや弱点を可視化し、改善に繋げる





まとめ





まとめ

- デイトレードとは「1日完結型の短期トレード」で、翌日に持ち越さずに完結させる手法
- スキャルピングよりは時間に余裕があり、中期よりは反応が早い、バランスの良いスタイル
- 向き不向きはあるが、集中時間を確保でき、日々振り返り
を行える人には非常に有効
- 成功には、環境認識・時間管理・トレード記録の3つが欠かせない



プロトレーダーを目指す者が本気で磨ける場所



知識は力に! 検証は武器に! 学びを仕組みに! 勝ちを習慣に!